

ファイル共有設定

1. ファイル共有

Windows では、自分のパソコンの中のファイルやフォルダを LAN でつながったほかのパソコンと、共有して利用するための仕組みが準備されています。

この機能を使えば、同じファイルを複数の人で参照したり修正したりする場合に、USB メモリなどを使ってわざわざ持ち回る必要がなくなって非常に便利です。で複数のパソコンを使用しているユーザは覚えておきましょう。

2. ファイル共有の利用方法

ファイル共有を行うには、まず共有したいファイルがあるパソコンの中に共有に使うフォルダを作成しておく必要があります。

※ドライブを丸ごと共有することは危険です、必ずフォルダ作成し共有するようにします。

2.1. 共有フォルダを作成する。

ここでは、フォルダ名を “sample” としておきます。

フォルダ名、共有名の最後に ‘\$’ を付加することで、共有名を隠蔽することができます。

2.2. 共有の設定

エクスプローラ上で共有したいフォルダを右クリックし、表示されるメニューの中から一番下の「プロパティ」をクリックします。

プロパティが表示されたら、上のタブより「共有」を選択し、ウィンドウの中の「共有」タブをクリック。

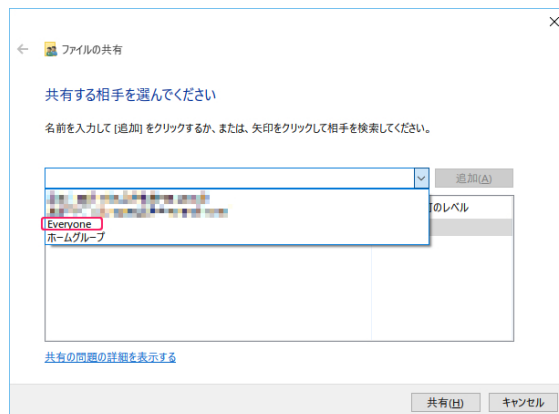
「ファイルの共有」の設定を行うウィンドウが開きますので、プルダウンメニューをクリックします。

すると、パソコンに登録されているユーザと、特別なユーザの「Everyone」、ホームグループに参加済みであれば「ホームグループ」が選択肢として表示されます。

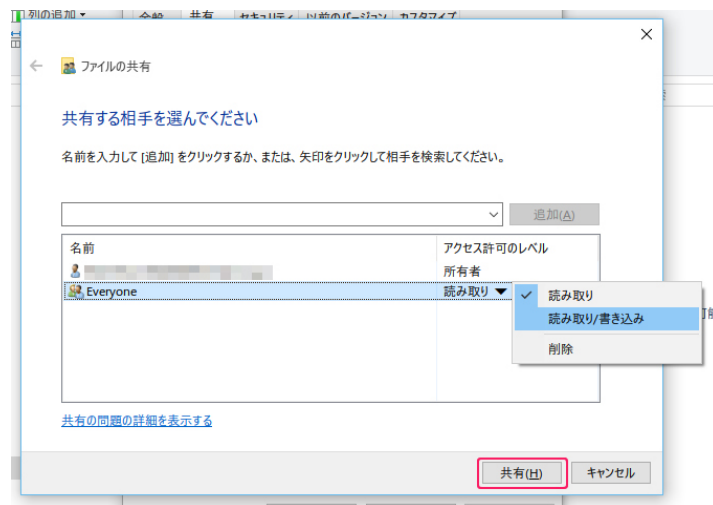


ここで「Everyone」を指定し、追加します。

「Everyone」は特別なユーザ名で、同じ LAN 中の Windows パソコンのどのユーザからでも共有フォルダを参照することが可能になるユーザです。



追加ボタンを押すと下のユーザのリストに Everyone が表示されるようになります。
既存は「読み取り」になっていますので、ほかのパソコンから書き込み（変更）も行いたい場合は「読み取り/書き込み」を選択し画面下の「共有」をクリックします。



ここまでの設定を行うと、ほかのパソコンから設定を行ったパソコンのフォルダを共有することが出来るようになります。

特定のユーザだけに共有を許す場合には、共有するユーザ名を追加する画面で、特定のユーザ名を選ぶようにします。モザイクがかかっている部分には、パソコンに登録されているユーザ名が表示されています。これらのユーザを選ぶことで、このユーザだけに共有が許可されます。

先ほどと同じように、共有するユーザの追加を行ったあと、ほかのパソコンから接続するときのアクセスレベルを設定し「共有」をクリックします。

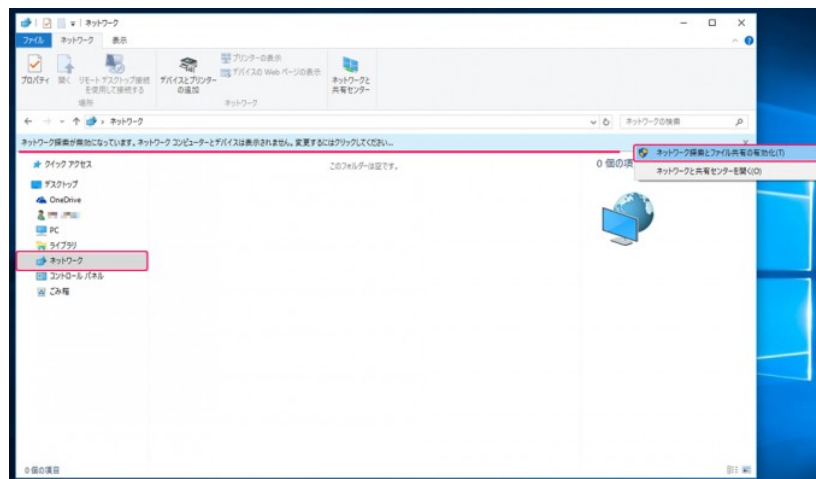
これで設定完了です。

3. ほかのパソコンのファイル・フォルダを利用する

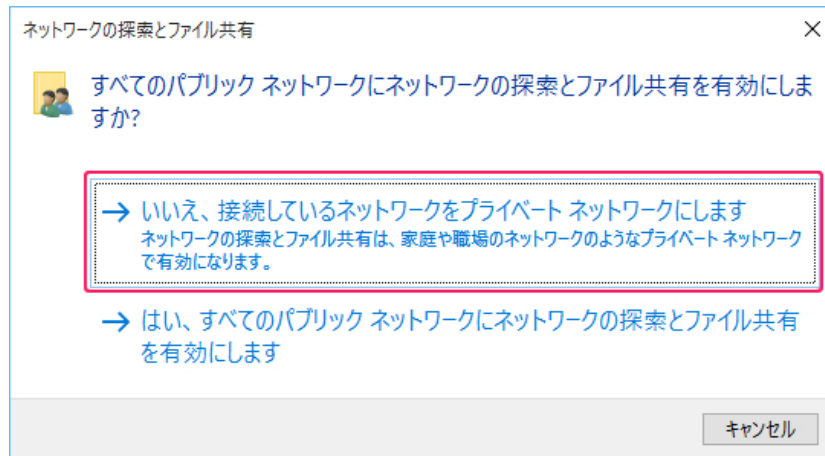
共有される側の設定が完了したら、ほかのパソコンから設定したパソコン（フォルダ）にアクセスしてみましょう。

ほかのパソコンにアクセスするには、エクスプローラーの「ネットワーク」からアクセスします。

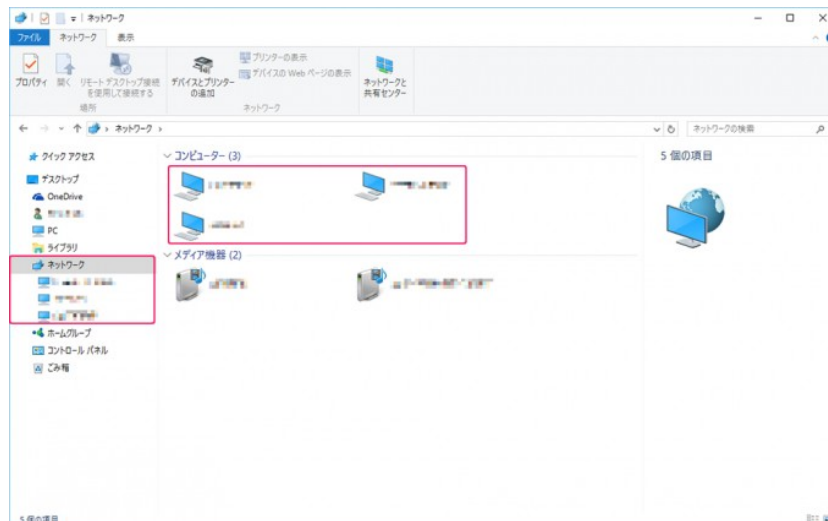
Windows 10 パソコンの初期設定では、共有の設定が行われているパソコンを LAN 内から探す「ネットワーク探索」が無効になっていますので、まずはこの設定を有効にします。



「ネットワーク探索とファイルの有効化」をクリックすると次のサブウィンドウが表示されますので、Windows 10 側の設定のネットワークの扱いを「プライベートネットワーク」に切り替えます。



ここまでの設定を行うと、エクスプローラの「ネットワーク」の中に、同じ LAN に接続されているパソコンなどが表示されるようになり、アクセス可能な状態になります。



例えば、エクスプローラのネットワークの中のほかのパソコンで「sample」というフォルダを共有設定してある場合には、そちらのフォルダをクリックするとフォルダの中身を見ることができ、中身のファイルにもアクセスすることが出来ます。